



木の家だいすきの会 通信

2016年10月発行

特定非営利活動法人 木の家だいすきの会
E:Mail: office@kinoie.org
URL: http://www.kinoie.org
facebook:
http://www.facebook.com/NPO.KinoieDaisuki

■東京事務所 & 木の家づくりの相談空間
〒102-0081 東京都千代田区四番町3-10 番町 MK ビル 301
TEL 03-6261-2970 / FAX 03-6261-2971
■所沢事務所
TEL 04-2937-7344

お米と木材、乾燥の大切さは同じ

天干しのお米と、機械乾燥のお米

収穫したてのお米は約20%の水分を含んでいます。水分が多いとカビなどの原因になるため、乾燥させて約15%に落とすことが必要ですが、現在は火力を使った機械乾燥が普通です。かつては稲架(はさ)と呼ばれる横木につるし天日で乾かしており、味がよくなると言われていることから現在でも天日乾燥にこだわる生産者がいます。

実際、「炊飯品質では、天日干しは熱風乾燥より食味スコア等の5項目において品質指標が向上する傾向を示した」と学会報告もあります。



稲穂の天日干し

天然乾燥の木と、人工乾燥の木

木の家によく使われるスギも立木を伐った時点では100%以上の水分を含んでいることもあり、カビ、たわみ、収縮などの原因になるため、乾燥させて使う必要があります。

乾燥のさせ方は、お米と同様に天然乾燥と人工乾燥があります。誤解を恐れず言うと、髪を乾かすときに「ホットで乾かせば時間がかからない、クールで乾かせば髪が痛まない」、と同じことがスギの乾燥についても言えます。

高温で乾かせば時間は節約できますが、木の香りが飛んでしまったり、脱色、内部割れといった問題が生じ、全国的にも問題となりました。

大工さんたちからは、のみを使うと「削れる」のではなく木が「つぶれる」という声があがり、当初、天然乾燥材を使用していました。木材本来の色や香りがあり、言わばプラスチックのような高温乾燥材とはまったく違うものと考えていますが、「乾くまで1年以上待つて下さい」というのはなかなか難しいことです。

そこで、現在では、天然乾燥材に近い特徴が保持される低温乾燥材や中温乾燥材を使用し、品質管理のより一層の向上に取り組んでいます。



伐採したばかりの木はしっとり



木材の低温乾燥設備

代表
鈴木 進



コラム：設計者の目

今回は、設計者・大沢宏さん(コウ設計工房)のコラムです。

木の家づくりOBも、設計者も楽しむ見学会 ～ 住まう木の家見学とプチ生け花教室 ～

コウ設計工房 大沢宏



2016年7月10日(日)に、住まう木の家見学とプチ生け花教室を開催しました。建てた後も家づくりOB、そして設計者、工務店が楽しく、そして、これから建てる方は経験談を気軽に聞ける場になればと、去年の「見学会&プチ茶道教室」に続き、第2弾の開催でした。

■家を建てた後も、家づくりOBさんとのつながりを大切に

OBの建て主Aさんが草月流生け花の師範でもあるので、素人さんでも参加できる生け花入門編の講座を依頼したところ、快く引き受けてくれました。Aさん以外にも、たくさんの家づくりOBの建て主さんが参加くださり、和気あいあい、楽しく開催することができました。

Aさんが、前日に購入しておいてくれた花々の他、庭の花や草木なども用意してくださり、素人にも判りやすい説明を聞きながら、順番に好きなように生けました。もちろん、途中どうしてもわからなくなったら、講師のAさんが助けてくれます。最後に、より見栄えが良くなるようなアドバイスをいただき、完成!それぞれの生け花を楽しむことができました。同じような花材を使いながらも、みんなそれぞれ個性的な生け花となりました。(家づくりと一緒にですね)

昨年「見学会&プチ茶道教室」の講師役をつとめてくださったOBや、音楽家のOB・Mさんたちも参加され、Mさんのアカペラの歌なども披露いただいで楽しい時間がすごせました。

■家づくりOBさん同士のつながりも

このような企画などにより、家づくりOBさん同士の繋がりも、深まっています。例えば、今回の生け花講師役のAさんは、音楽家のOB・Mさんのところにピアノを習いに行ったり・・・。

今回のような和やかな見学会のなかで、これから家づくりをはじめの方も、気軽に家づくりの先輩達から本音の声を聞いたり、木の家を体感したりしていただけたらと思います。

今後もOBの建て主さんたちと楽しめるイベントもさらに企画していきたいと思っています・・・。
次回はどんな企画になるか? お楽しみに♪

